



ドキュメンタリー
by 森 達也

出演
by 佐村河内 守

誰にも
言わないで
ください
衝撃のラスト
12分間。

第12回 よなご映像フェスティバル プレイベント連続上映第4弾

FAKE

監督・撮影: 森 達也 プロデューサー: 橋本佳子 撮影: 山崎 裕 編集: 鈴尾啓太
制作: ドキュメンタリージャパン 製作: 「Fake」製作委員会 配給: 東風 2016 | HD | 16:9 | 日本 | 109分 ©2016「Fake」製作委員会

多くの人にご無沙汰しております。森達也です。

肩書の一つは映画監督だけど、4人の監督の共作である『311』を別にすれば、本作『FAKE』は15年ぶりの新作ということになります。「下山事件」に「中森明菜」、「今上天皇」に「東京電力」など、撮りかけたことは何度かあったけれど、結局は持続できなかった。

でも今年、やっと形にすることができました。映画で大切なことは普遍性。入口はゴーストライター騒動だけど、出口はきっと違います。誰が佐村河内守を造形したのか。誰が嘘をついているのか。真実とは何か。虚偽とは何か。そもそも映画(森達也)は信じられるのか……。

視点や解釈は無数です。絶対に一つではない。僕の視点と解釈は存在するけれど、結局は観たあなたのものです。でもひとつだけ思っほしい。様々な解釈と視点があるからこそ、この世界は自由で豊かで素晴らしいのだと。

僕がドキュメンタリーを撮る理由は何か。もちろん一つではないけれど、最終的には「見て見て! こんなのできたよ!」です。すべての人に「見て見て!」とお願ひしたい作品になりました。

劇場でお待ちしております。



Fake [féik]

.....

偽造する。
見せかける。
いんちき。
虚報。

『A』『A2』以来実に15年ぶりの森達也監督作。佐村河内守氏の自宅でカメラを廻し、その素顔に迫る。取材の申し込みに来るメディア関係者たち、この真偽を取材に来る外国人ジャーナリスト…。市場原理によってメディアは社会の合わせ鏡となる。ならばこの「ゴーストライター騒動」は、社会全体が安易な二極化を求めていることの徴候と見ることもできる。はたして何が本当なのか? 誰が、誰を騙しているのか? 映画は、この社会に瀰漫する時代の病をあぶりだしながら、衝撃のラストへとなだれ込む。

www.fakemovie.jp

[@fakemovie2016](https://twitter.com/fakemovie2016)

[fb.com/fakemovie2016](https://www.facebook.com/fakemovie2016)

日時：12月8日(日) 19時～ ※定員45名

会場：米子コンベンションセンター第1会議室 (米子市末広町294)

入場料：一般・学生800円、中学生以下無料(直接会場へお越し下さい)

主催：よなご映像フェスティバル実行委員会

問い合わせ：080-5232-2993 (水野)

第12回よなご映像フェスティバル 12/14(土)・15(日) 会場：ガイナックスシアター